



## 2022年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年12月10日

上場会社名 オース株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9637 URL <https://www.osgroup.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 高橋 秀一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 矢崎 秀成 (TEL) 06-6361-3554  
 四半期報告書提出予定日 2021年12月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2022年1月期第3四半期の連結業績 (2021年2月1日～2021年10月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年1月期第3四半期	3,903	6.1	28	—	33	—	455	—
2021年1月期第3四半期	3,679	△41.5	△37	—	△84	—	△115	—

(注) 包括利益 2022年1月期第3四半期 470百万円(—%) 2021年1月期第3四半期 △145百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2022年1月期第3四半期	円 銭 143.44	円 銭 —
2021年1月期第3四半期	△36.55	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年1月期第3四半期	30,569	10,747	35.2
2021年1月期	28,747	10,342	36.0

(参考) 自己資本 2022年1月期第3四半期 10,747百万円 2021年1月期 10,342百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年1月期	—	12.50	—	12.50	25.00
2022年1月期	—	12.50	—	—	—
2022年1月期(予想)	—	—	—	12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2022年1月期の連結業績予想 (2021年2月1日～2022年1月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	5,500	△10.2	△115	—	△35	—	360	113.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(注) 特定子会社の異動には該当しておりませんが、当社の連結子会社でありましたOSフードサービス株式会社は、2021年5月7日付で清算終了したため、第2四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年1月期3Q	3,200,000株	2021年1月期	3,200,000株
② 期末自己株式数	2022年1月期3Q	24,758株	2021年1月期	29,162株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年1月期3Q	3,173,490株	2021年1月期3Q	3,168,875株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の当社グループは、新型コロナウイルスの感染拡大が依然として収まらず、緊急事態宣言とまん延防止等重点措置が断続的に発令され、先行き不透明な状況が継続いたしました。

このような状況のなか、当社グループにおきましては、感染防止対策を重点的に講じつつ、安心・安全な営業に努めてまいりました。

また、中期経営計画（2019年3月15日発表）で掲げた重点施策のひとつである「グループ会社を含めた抜本的な組織・人事戦略の改革」の一環として、本年2月1日付で組織再編を行い、コロナ禍における事業間連携と効率化の推進に注力いたしました。

当第3四半期連結累計期間の成績は、売上高は3,903,996千円と前年同期に比べ224,413千円（6.1%）の増収となり、営業利益は28,425千円（前期は37,160千円の営業損失）、経常利益は33,126千円（前期は84,039千円の経常損失）、特別利益にテナント退店関連損益を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は455,191千円（前期は115,832千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

経営成績をセグメント別で見ると次のとおりであります。なお、組織再編による報告セグメントの区分方法の変更については「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記」の「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」をご参照ください。

#### （エンタメ・サービス事業）

映画事業におきましては、「シン・エヴァンゲリオン劇場版」「名探偵コナン 緋色の弾丸」「竜とそばかすの姫」などの話題作を上映し、売上高は前期を上回ることが出来たものの、時短営業や休業要請等の営業上の制約に加え、一部公開作品延期によりコロナ以前の水準には遠く及んでおりません。

飲食事業及びアミューズメント事業におきましては、本年4月末に阪急神戸三宮駅の商業施設「EKIZO（エキゾ）神戸三宮」に開業したビアホール「BEER&GRILL コウベビアハウゼ」及びアミューズメント施設「namco三宮OS」が、開業後も休業要請や酒類提供禁止等により通常営業ができないなか比較的健闘しており、10月以降は時間の経過とともに明るい兆しが見えてきております。

以上の結果、売上高は1,632,187千円と前年同期に比べ421,472千円（34.8%）の増収となり、営業損失は218,833千円と前年同期に比べ48,971千円の改善となりました。

#### （不動産事業）

不動産賃貸事業におきましては、OSビルにおける一部主要テナントの退店により、売上高は前年を下回る結果となりました。同ビル後継テナントとの交渉はほぼ目処が立った一方で、本年10月末には、さらなる収益力強化のため神戸市中央区に商業ビルを取得いたしました。なお、和歌山県白浜町のリゾートサテライトオフィスビル「ANCHOR」につきましては、感染対策を講じながらテナント間の交流イベントを企画する等、イノベーション創出の場として様々な機会を提供いたしました。

不動産販売事業におきましては、分譲住宅「ハピアガーデン宝梅一丁目（共同事業）」（宝塚市）の最終住戸の売上並びに宅地販売（箕面市）の売上を計上いたしました。分譲マンション「プレージア住之江公園エアパレス」（大阪市住之江区）及び「ローレルスクエアOSAKA LINK」（大阪市東淀川区）につきましても、共同事業者とともに建設工事並びに販売活動を進めております。

以上の結果、売上高は2,271,809千円と前年同期に比べ197,059千円（8.0%）の減収となり、営業利益は767,698千円と前年同期に比べ21,798千円の減益となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、前連結会計年度末と比較して総資産は1,822,781千円の増加となりました。これは主に有形固定資産859,563千円、販売用不動産714,241千円、現金及び預金190,567千円の増加によるものであります。

負債につきましては1,418,172千円の増加となりました。これは長期借入金527,510千円、長期預り保証金286,318千円の減少がありましたが、主に短期借入金2,343,550千円の増加によるものであります。

純資産につきましては404,609千円の増加となりました。これは主に利益剰余金375,204千円の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年1月期の通期業績予想につきましては、2021年3月17日に公表いたしました内容から変更しております。詳細につきましては、2021年12月10日（本日）公表の「業績予想の修正及び特別利益の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,643,771	1,834,338
売掛金	244,706	206,357
販売用不動産	1,920,931	2,635,172
商品	10,585	10,296
貯蔵品	1,786	1,560
前払費用	89,994	115,487
その他	76,330	87,203
貸倒引当金	△5,250	△5,250
流動資産合計	3,982,856	4,885,166
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	19,177,468	19,515,629
減価償却累計額	△11,293,308	△11,651,181
建物及び構築物(純額)	7,884,159	7,864,447
機械装置及び運搬具	285,056	285,056
減価償却累計額	△195,668	△210,233
機械装置及び運搬具(純額)	89,387	74,822
工具、器具及び備品	724,885	831,191
減価償却累計額	△618,355	△580,688
工具、器具及び備品(純額)	106,529	250,502
土地	12,947,131	13,628,739
信託建物	597,634	604,559
減価償却累計額	△216,002	△244,771
信託建物(純額)	381,631	359,788
信託土地	1,812,608	1,812,608
建設仮勘定	129,472	219,575
有形固定資産合計	23,350,919	24,210,483
無形固定資産		
ソフトウェア	102,388	182,581
ソフトウェア仮勘定	25,314	15,048
その他	1,895	1,768
無形固定資産合計	129,598	199,397
投資その他の資産		
投資有価証券	325,407	347,825
長期前払費用	107,246	72,550
差入保証金	571,456	645,795
建設協力金	208,876	175,586
繰延税金資産	20,977	24,930
その他	49,665	8,050
投資その他の資産合計	1,283,630	1,274,739
固定資産合計	24,764,149	25,684,620
資産合計	28,747,005	30,569,787

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年10月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	138,457	116,209
短期借入金	2,810,150	5,153,700
未払金	52,081	72,937
未払費用	202,275	185,762
未払法人税等	59,479	202,012
未払消費税等	66,990	21,207
賞与引当金	24,962	60,801
その他	647,826	394,855
流動負債合計	4,002,223	6,207,486
固定負債		
長期借入金	9,923,420	9,395,910
長期預り保証金	1,528,135	1,241,817
繰延税金負債	865,751	839,747
再評価に係る繰延税金負債	1,674,048	1,674,048
退職給付に係る負債	410,789	423,477
その他	-	40,052
固定負債合計	14,402,143	13,615,053
負債合計	18,404,367	19,822,539
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	800,000	800,000
資本剰余金	66,506	66,506
利益剰余金	6,661,862	7,037,066
自己株式	△91,035	△77,285
株主資本合計	7,437,332	7,826,287
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	113,542	129,196
土地再評価差額金	2,791,763	2,791,763
その他の包括利益累計額合計	2,905,305	2,920,959
純資産合計	10,342,638	10,747,247
負債純資産合計	28,747,005	30,569,787

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年2月1日 至2020年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年2月1日 至2021年10月31日)
売上高	3,679,583	3,903,996
売上原価	3,074,089	3,292,706
売上総利益	605,493	611,289
一般管理費	642,654	582,864
営業利益又は営業損失(△)	△37,160	28,425
営業外収益		
受取利息	5,092	4,446
受取配当金	1,565	1,287
受取給付金等	12,774	62,830
その他	5,457	2,266
営業外収益合計	24,890	70,830
営業外費用		
支払利息	60,044	61,632
その他	11,724	4,497
営業外費用合計	71,769	66,129
経常利益又は経常損失(△)	△84,039	33,126
特別利益		
テナント退店関連損益	-	580,070
補助金収入	2,000	-
特別利益合計	2,000	580,070
特別損失		
固定資産除却損	788	308
減損損失	37,615	-
店舗閉鎖損失	15,706	-
固定資産圧縮損	2,000	-
特別損失合計	56,110	308
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△138,150	612,888
法人税、住民税及び事業税	20,380	194,556
法人税等調整額	△42,698	△36,859
法人税等合計	△22,317	157,696
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△115,832	455,191
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△115,832	455,191

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年10月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△115,832	455,191
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△29,964	15,654
その他の包括利益合計	△29,964	15,654
四半期包括利益	△145,796	470,845
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△145,796	470,845
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、連結子会社でありましたOSフードサービス株式会社は、2021年5月7日付で清算終了したため、第2四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染拡大による影響の収束時期等を含む仮定及び会計上の見積りについて、重要な変更はございません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年2月1日 至 2020年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	エンタメ・ サービス事業	不動産事業	計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高					
(1) 外部顧客への 売上高	1,210,714	2,468,868	3,679,583	—	3,679,583
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	20,541	20,541	△20,541	—
計	1,210,714	2,489,409	3,700,124	△20,541	3,679,583
セグメント利益又は 損失(△)	△267,805	789,496	521,691	△558,851	△37,160

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△558,851千円には、セグメント間取引消去△2,662千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△556,189千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「エンタメ・サービス事業」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては37,615千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年2月1日 至 2021年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	エンタメ・ サービス事業	不動産事業	計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高					
(1) 外部顧客への 売上高	1,632,187	2,271,809	3,903,996	—	3,903,996
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	27,539	27,539	△27,539	—
計	1,632,187	2,299,348	3,931,535	△27,539	3,903,996
セグメント利益又は 損失(△)	△218,833	767,698	548,864	△520,439	28,425

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△520,439千円には、セグメント間取引消去△7,953千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△512,485千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの変更)

第1四半期連結会計期間より、組織再編に伴い、従来「映画事業」「飲食事業」「その他事業」としていた各報告セグメントを統合し「エンタメ・サービス事業」に、「不動産賃貸・販売事業」としていた報告セグメントの名称を「不動産事業」に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。